



ま ちかど インタビュー

道の駅整備事業

建設の計画見直し案はどうなる??

道の駅事業の見直し案について、新聞報道等で知らされたことは、現在の状況を町民が考えるきっかけになりました。道の駅事業に対する考えをお2人にお聞きしました。



日下 みち子さん (下北迫)

私は、当初から、町のたぐさんの予算を必要とする「道の駅」には疑問を持っていました。工事中に岩盤が出たから、さらに多くの予算がかかる「道の駅」、隣の檜葉町にもあり、広野町にはいらないと思います。8月末の住民説明会や9月議会でも批判的な意見、

特にヘリポートを造らない事に対しての声が出たそうですから。

新聞記事で、みかんの木、桜の木を植える事等を知り、その案はとも良いと思います。

みかんが成熟したら、「ミカン狩り」ができるようになりますれば、収入にもつながるのでは、と考えました。出来上がってからの管理

にもお金がかかるし、そこが皆の訪れる場所になるように工夫してほしいです。町の予算は、むだ使いと言われないように大切に使うて頂きたいと切に願います。



阿部 千恵子さん (上北迫)

最初は道の駅ができるのはいいと思いましたが、岩盤が出て撤去するには、予算がたかさんいると聞いて、道の駅は必要だろうか考えるようになりました。

現在、出された案では道の駅にはならず、みかんの木や桜の木を植え、トイレや休憩所等を置くそうなので、良い計画だと思います。高台の個所には、ベンチ等を置いて海が見えるようにするのはどうでしょうか。マイナスイメージの岩盤を利用することも考えた方がよいと思います。

編集後記

今年の野菜作りの講習会に参加しましたが、今年続いてきた空梅雨は姿を消し、7月は気温の変動や長雨が続き湿度100%の日が半月もあり、8月に入ると雨が殆ど降らず農家や家庭菜園では対応に苦慮しました。その理由として植物は「根によって養分を土の中で水と共に吸収する」ので雨が降らないと元肥として施した肥料の中の成分が根から吸収されず葉先が枯れるなどの障害が発生して収量はともより品質も大きく損ねる結果となりました。結果を踏まえて今後の対策としては、長期予報の確認や植え付け時期の変更なども視野に入れて、関係機関の指導を受けて、安全で新鮮な野菜を作つて食べて健康増進を図りましょう。

(北郷 伯弘)



暑さを乗り越えた茄子の花

次の定例会は12月です

発行・編集責任者 議長 北郷幹夫
広報委員会 委員長 阿部憲一
副委員長 渡邊正俊
委員 小磯利雄
委員 畑中太子
委員 北郷伯弘